

木村博則

主な建築作品（設計＜設備・環境デザイン担当＞・監理 担当）

◇ホンダ青山ビル（東京都）



1985年 竣工時

・受賞：2014年 JIA25年賞（大規模改修時）

1987年 BCS賞（竣工時）

2013年 リノベーション完成時

作品の特長：竣工時インテリジェントビル、竣工 15 年後からの継続的な省エネ改修により、2019 年度、1990 年度比にて 1 次エネルギー約 57%削減達成

◇キッコーマン野田本社屋（野田市）



1999年竣工時（南側：吹き抜けロビー）

1999年竣工時（北側：オフィス）

・受賞：空気調和・衛生工学会特別賞「十年賞」2011年度

・作品の特長：地球温暖化防止の京都議定書採択のムーブメントにより、外皮のガラスと外水平ルーバによる日射遮蔽に特長がある。

◇早稲田大学36号館（東京都）



1999 年竣工

作品の特長： 本建築物は大学施設の文系の講義室、ワークスペース、サロン等からなり、各階空調方式の環境に配慮した設備計画に特長がある。本施設は温暖化係数ゼロのアンモニア冷媒＋氷蓄熱による深夜電力利用の環境配慮の計画に特長がある。

①躯体蓄熱を冬季に深夜電力適用の事例として、東京電力の委託研究による計測、調査分析が行われた。

②各階中央熱源氷蓄熱活用、単一ダクト VAV 方式において、VAV 方式の性能検証を行い、技術の向上に貢献した。

◇山梨労働局（甲府市）



2005 年竣工

・計画の特長：国土交通省関東地方整備局監修のグリーンビル。中央部の吹き抜けの自然痛風と自然採光のためのエコボイドが設けられており、自然通風が機能する。年間のうち 5 か月程度は自然通風が機能しており、夏季冷房時、VAV 方式の冷却除湿機能により、室温の設定を 28℃として、快適に感じる環境を実現している。

◇自治大学校（立川市）



2003 年竣工

・計画の特長：本施設は、国土交通省関東地方整備局の監修にて、1999 年に出版（\*参照）されたグリーン庁舎のモデルとして計画された。ライフサイクルコスト・ライフサイクル CO<sub>2</sub>、長寿命に配慮した計画が行われ、現在まで適切に維持管理されてきている。

\*「建設大臣官房官庁営繕部監修  
グリーン庁舎計画指針及び同解説  
ー環境配慮型官庁施設計画指針ー」